

第1回 理事会(書面理事会)

日時：令和2年4月14日(火)～4月20日(月)

場所：任意(書面にて実施)

出席者：脇坂会長(議長)、木方副会長、向山副会長、清水常務理事、伊藤、稲垣、太田、大谷、大沼、奥村、長田、小俣、北田、黒木、小松原、金、鈴木、高橋、遠田、徳永、中曽根、原、和田各理事

監事：野村、齋藤各監事

(定款第41条に基づき理事24名中24名全員参加によって書面理事会は成立)

議事内容：

1. 審議事項

1) 会員状況及び新入会員の承認

- ・13名の入会希望者の入会が全理事の同意の下、承認された。
- ・4月1日時点では、正会員1,815名、学生会員31名、名誉会員56名となり、総数は1,902名であることが確認された。

2) 委員、部会員の承認

- ・地下水研究部会員の新任、編集委員会委員の交代が全理事の同意の下、承認された。

3) 日本応用地質学会表彰の来年度延期

- ・総務委員会から提出された日本応用地質学会表彰の表彰式を令和3年度の定時社員総会時に延期することが全理事の同意の下、承認された。
- ・次の付帯意見が提出された。
- ・今年度に受賞については、表彰は来年度としても、受賞については、HPに掲載した方が良い。
- ・表彰該当者の公表についてどのような措置をとるかを記述する。

4) 令和2年度定時社員総会およびシンポジウムの縮小(変更)

- ・総務委員会から提出された定時社員総会を規模を縮小する等で対応した上で開催とすること、状況により東大柏キャンパス以外の会場を含めて検討すること、シンポジウムを延期とし、実施時期については別途検討を行うこと、意見交換会は行わないことが全理事の同意の下、承認された。
- ・次の付帯意見が提出された。
- ・総会について縮小開催も困難な場合の対応策を考えておくべき。Web開催が可能かなど。
- ・6月には十分終息していない可能性があります。総会について「縮小」では対応できない場合も想定した方が良い。
- ・シンポジウムの予稿集については部会委員が鋭意作成中だが、延期の場合の日時や段取りについては、事業企画委と相談していく予定。

5) 令和2年度支部交付金および配分

- ・総務委員会から提出された令和2年度の支部交付金を昨年度と同額の200万円とし、3月末の会員数によって次のようにすることが全理事の同意の下、承認された。
- ・北海道支部：18万円、東北支部：28万円、北陸支部：11万円、中部支部：40万円(研究発表会担当支部への補助金15万円を含む)、関西支部：30万円、中国四国支部：41万円、九州支部：32万円。

6) 規則の改定及び規程の制定及び改定

- ・総務委員会から提出された「事務所拡充積立金」を「学会運営積立金」に名称変更し、規程を改定し用途を改定すること、関連する規程類の制定・改定を行うこと、併せて規則を改定することは、全理事の同意が得られなかったため、否決された。
- ・次の付帯意見が提出された。
- ・記念行事・・・規程 附則の“承認(令和2年3月16日)を持って施行”と右肩の“令和2年4月20日制定”の日付が・・・これでよいですか？ 附則の日付を修正すべきでは？
- ・①そもそも「事務所拡充積立金」の意図が何であって、その必要性の有無について説明がなされていません。②新しい積立金の用途が原案では広すぎるように思われ、適切に管理されるのかどうか明確ではないと思われます。③廃止される規則についての言及がない。

7) 投稿規定の改定

- ・編集委員長から提出された投稿規定及び執筆要領の改定は全理事の同意の下、承認された。

8) 名誉会員・功績賞選考結果

- ・2020年名誉会員選考特別委員会から提出された5名の名誉会員候補については、全理事の同意が得られなかったため、否決された。

9) 2020年論文賞選考結果

- ・2020年論文賞選考特別委員会から提出された次の2編の論文に論文賞を授与することが全理事の同意の下、承認された。
- ・村上裕晃・芦澤政臣・田中和弘：九州北部に分布する結晶質岩内の割れ目の特徴と形成過程について、第59巻、第1号、pp. 2-12.
- ・石田純平・杉本知史・蔣宇静：斜面安定解析への二相流解析適用に関する基礎的研究、第59巻、第5号、pp. 263-272.

10) 永年会員選考結果

- ・総務委員会から提出のあった次の9名の永年会員候補を永年会員とすることが全理事の同意の下、承認された。

- ・中川雅之会員，香川重善会員，川島眞一会員，小林信章会員，高谷精二会員，野崎 保会員，増田重憲会員，三宅成治会員，村田正敏会員
- 11) 総会資料：令和元年度事業報告案・令和2年度事業計画案
 - ・令和2年度定時社員総会資料については全理事の同意が得られなかったため，否決された。
- 12) 令和2年度研究発表会に向けた対応
 - ・総務委員会および事業企画委員会から提出された令和2年度研究発表会についての6月号の2案の会告案は，全理事の同意の下，承認された。
- 3. 確認事項
 - ・以下に示す確認事項が提出され，全理事によって確認された。
 - 1) 収支状況
 - 2) 個人情報保護規定に基づく監査の実施
 - 3) 緊急事態宣言が発令された場合の日本応用地質学会の対応
 - 4) 2018－2019年度理事会出席状況一覧表
- 4. 本部からの報告事項
 - 1) 他学協会からの依頼
 - 2) 日本応用地質学会2019年台風19号等災害調査団班編成および現地調査状況
 - 3) 「火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ」概要案ver. 14
 - 4) 日本応用地質学会将来構想委員会準備会(案)
 - 5) 学会推薦委員の退任について(日本ジオパーク委員会調査運営会員)
 - 6) 日本応用地質学会令和3年度研究発表会
 - 7) 「廃棄物処分・利用における地質環境に関する研究小委員会(第四期)委員公募のお知らせ
- 5. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項
 - 1) 総務委員会，広報・情報委員会，事業企画委員会，応用地質学教育普及委員会
 - 2) 東北支部
 - 3) 地下水研究部会
 - 4) 社会貢献と魅力発信に関する特別委員会